

平成29年度 森林づくり県民税アンケート調査 (市町村議会)

1 調査目的

長野県森林づくり県民税に対する市町村議会の意向を調査分析し、「みんなで支える森林づくり県民会議及び地域会議」等において、今後の森林づくり県民税のあり方を検討する資料とするため。

2 調査方法

- ・ 地域：長野県全域
- ・ 配付及び回収方法：郵送配付・郵送回収
- ・ 調査期間：平成29年6月9日～7月10日

3 配付・回収状況

- ・ 配布数：77市町村議会
- ・ 回収数：70市町村
- ・ 回収率：90.91%

4 集計等について

- ・ 四捨五入の有効数字の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 要求回答数を超える等、設問の要求形式に沿わない回答を無効としました。
- ・ 無回答・無効は、不明として表示しました。
- ・ 森林づくり県民税を森林税として表示しました。
- ・ 設問の回答項目の一部をわかりやすい標記に変更しました。

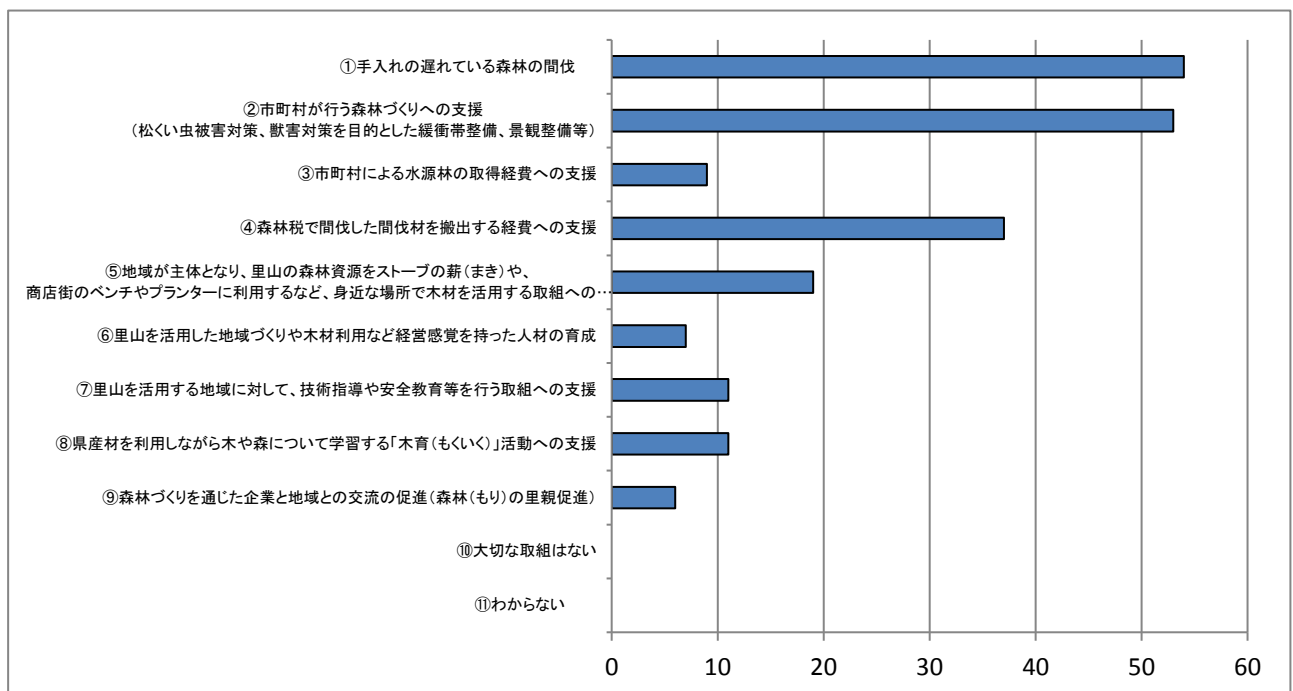
5 回答状況

問1 森林税を活用した取組について

森林税は現在、以下のような森林づくりに関する取組に活用されています。
大切だと思う取組を、次の中から**3つまで**お選びください。

「手入れの遅れている森林の間伐」が77.1%と最も高い割合で、次いで「市町村が行う森林づくりへの支援」（75.3%）、「森林税で間伐した間伐材を搬出する経費への支援」（52.9%）の順となった。

	n=207	回答数 (市町村数)	割合(%)
①手入れの遅れている森林の間伐		54	77.1
②市町村が行う森林づくりへの支援 (松くい虫被害対策、獣害対策を目的とした緩衝帯整備、景観整備等)		53	75.7
③市町村による水源林の取得経費への支援		9	12.9
④森林税で間伐した間伐材を搬出する経費への支援		37	52.9
⑤地域が主体となり、里山の森林資源をストーブの薪(まき)や、商店街のベンチやプランターに利用するなど、身近な場所で木材を活用する取組への支援		19	27.1
⑥里山を活用した地域づくりや木材利用など経営感覚を持った人材の育成		7	10.0
⑦里山を活用する地域に対して、技術指導や安全教育等を行う取組への支援		11	15.7
⑧県産材を利用しながら木や森について学習する「木育(もくいく)」活動への支援		11	15.7
⑨森林づくりを通じた企業と地域との交流の促進(森林(もり)の里親促進)		6	8.6
⑩大切な取組はない		0	0.0
⑪わからない		0	0.0

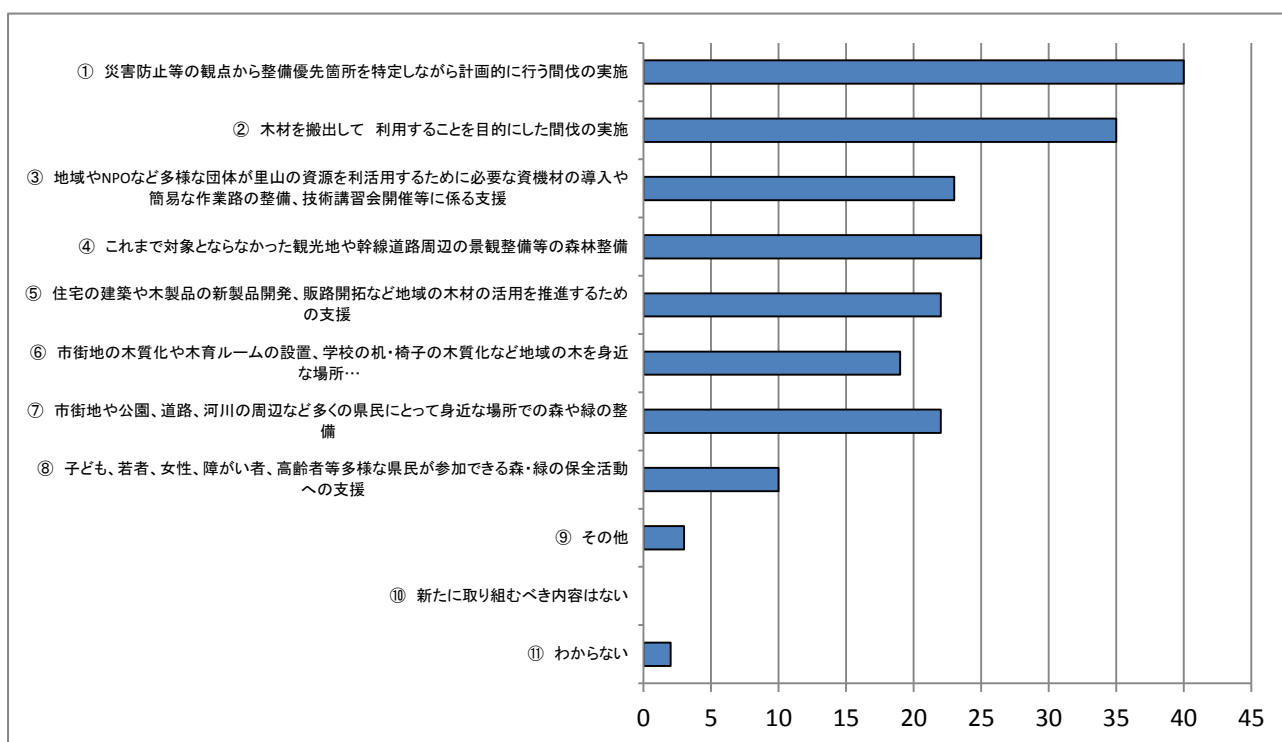


問2 森林税を継続した場合の取組について

仮に森林税を継続する場合、森林税を活用すべきだと考える**今後の新たな取組内容は何ですか？** 次の中から**3つまで**お選びください。

「災害防止等の観点から整備優先箇所を特定しながら計画的に行う間伐の実施」が57.1%と最も高い割合で、次いで、「木材を搬出して 利用することを目的にした間伐の実施」(50.0%)、「これまで対象とならなかった観光地や幹線道路周辺の景観整備等の森林整備」(35.7%)の順となった。

	n=201	回答数 (市町村議会数)	割合(%)
① 災害防止等の観点から整備優先箇所を特定しながら計画的に行う間伐の実施		40	57.1
② 木材を搬出して 利用することを目的にした間伐の実施		35	50.0
③ 地域やNPOなど多様な団体が里山の資源を活用するために必要な資機材の導入や簡易な作業路の整備、技術講習会開催等に係る支援		23	32.9
④ これまで対象とならなかった観光地や幹線道路周辺の景観整備等の森林整備		25	35.7
⑤ 住宅の建築や木製品の新品開発、販路開拓など地域の木材の活用を推進するための支援		22	31.4
⑥ 市街地の木質化や木育ルームの設置、学校の机・椅子の木質化など地域の木を身近な場所に使うための支援		19	27.1
⑦ 市街地や公園、道路、河川の周辺など多くの県民にとって身近な場所での森や緑の整備		22	31.4
⑧ 子ども、若者、女性、障がい者、高齢者等多様な県民が参加できる森・緑の保全活動への支援		10	14.3
⑨ その他		3	4.3
⑩ 新たに取り組むべき内容はない		0	0.0
⑪ わからない		2	2.9

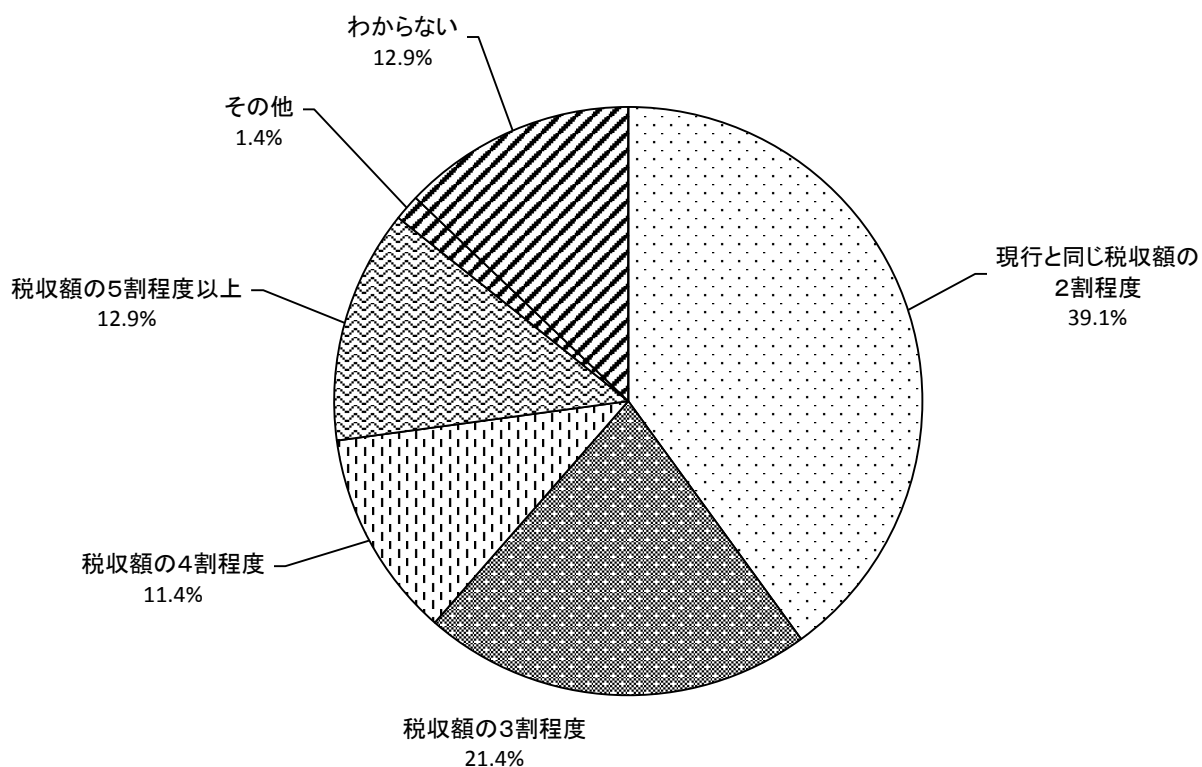


問3 森林税を継続した場合の森林づくり推進支援金について

仮に森林税を継続する場合、森林づくり推進支援金の金額で**適当と思う割合は何ですか？**
次の中から**1つまで**お選びください。

「現行と同じ2割程度」が55.6%と最も高い割合で、次いで「わからない」（22.2%）、「税収額の4割程度」（11.1%）の順となった。

	n=70	回答数 (市町村議会数)	割合(%)
①現行と同じ税収額の2割程度		28	40.0
②税収額の3割程度		15	21.4
③税収額の4割程度		8	11.4
④税収額の5割程度以上		9	12.9
⑤その他		1	1.4
⑥わからない		9	12.9
⑦不明		0	0.0



問4 森林づくり推進支援金に関するご意見について

22市町村議会から御意見をいただきました。主な内容は次のとおりです。

- ・より使いやすい制度とすべき。(9市町村)
- ・地域課題に対応した制度であるため、継続希望。(5市町村)
- ・予算配分の拡充を要望。(5市町村)

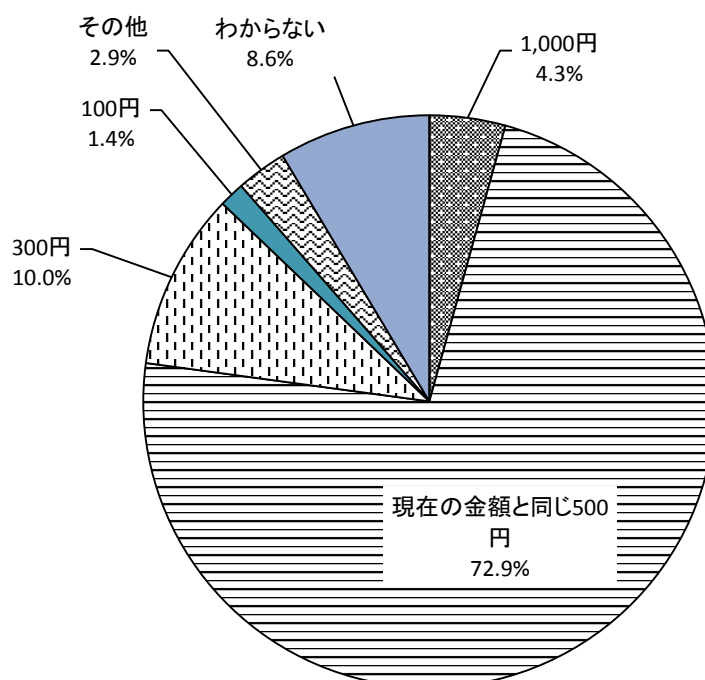
問5 森林税を継続した場合の金額について

現在の森林税では、県内にお住まいの個人の方から、お一人あたり年額500円をいただいています。

仮に森林税を継続する場合、年間どの程度の金額までの負担が適切とお考えですか？
次の中から1つお選びください。

「現行と同じ500円」が77.8%と最も多い割合で、次いで「300円」が11.1%と高い割合となった。

	n=70	回答数 (市町村議会数)	割合(%)
① 1,000円よりも多くすべき		0	0.0
② 1,000円		3	4.3
③ 現在の金額と同じ500円		51	72.9
④ 300円		7	10.0
⑤ 100円		1	1.4
⑥ その他		2	2.9
⑦ わからない		6	8.6
⑧ 不明		0	0.0

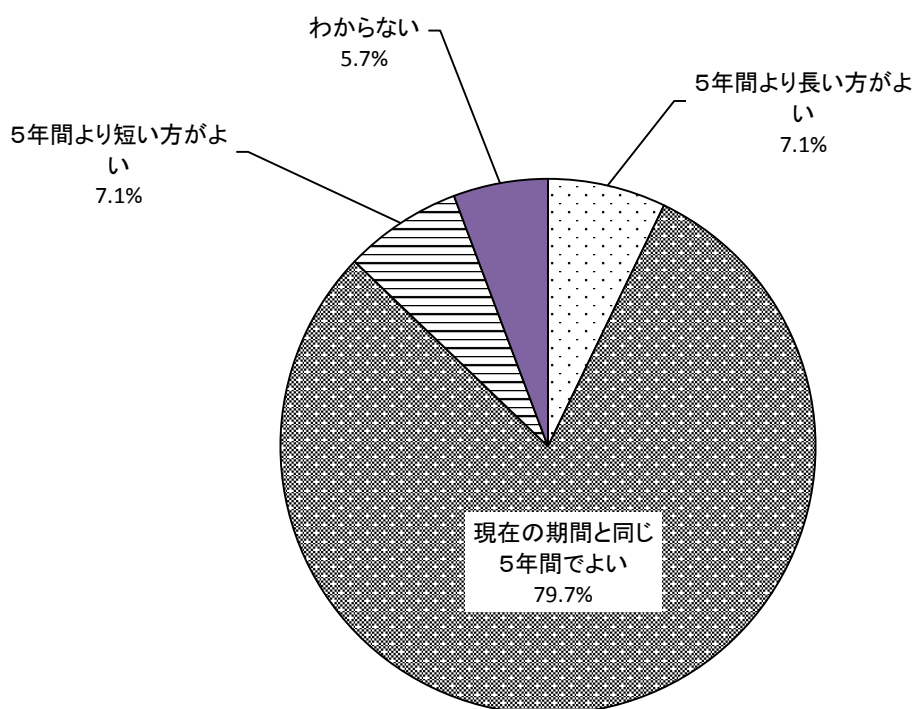


問6 森林税を継続した場合の期間について

現在の森林税は、平成20年度から24年度までの**5年間**が実施期間です。
仮に森林税を継続する場合、**継続する期間についてどのようにお考えですか？**
次の中から**1つ**お選びください。

「現行と同じ5年間」が77.8%と最も高い割合で、次いで「5年間より短い方がよい」が11.1%と高い割合となった。

	n=70	回答数 (市町村議会数)	割合(%)
① 5年間より長い方がよい		5	7.1
② 現在の期間と同じ5年間でよい		56	80.0
③ 5年間より短い方がよい		5	7.1
④ わからない		4	5.7
⑤ 不明		0	0.0



問7 森林税に関するご意見について

32市町村議会から御意見をいただきました。主な内容は次のとおりです。

- ・森林税の周知、広報が必要。(12市町村)
- ・採択要件を緩和すべき。(9市町村)
- ・適正な執行を。(8市町村)
- ・国の森林環境税も踏まえて検討を。(3市町村)
- ・森林税の継続賛成。(3市町村)